

資料6

令和5年度保育士確保等に関する実態調査（速報値）

R6.3.25 子ども・子育て支援推進会議

島根県健康福祉部子ども・子育て支援課
保育支援第一係

【保育士調査】 調査概要

島根県において保育士登録をされている方を対象に、R5年12月～R6年1月にアンケート調査を実施。

○調査の目的

保育士確保に関する実態や課題・問題点等を把握し、「島根県こども計画」策定のための基礎資料とし、また、県及び市町村での保育士確保のための検討材料とすることを目的として調査を実施。

○調査の概要

【調査対象】

島根県において保育士登録をされている方（20～60歳）
調査票回収数 2,219人（回収率 32.3%）

【調査期間】

令和5年12月22日(金)～令和6年1月15日(月)

【調査方法】

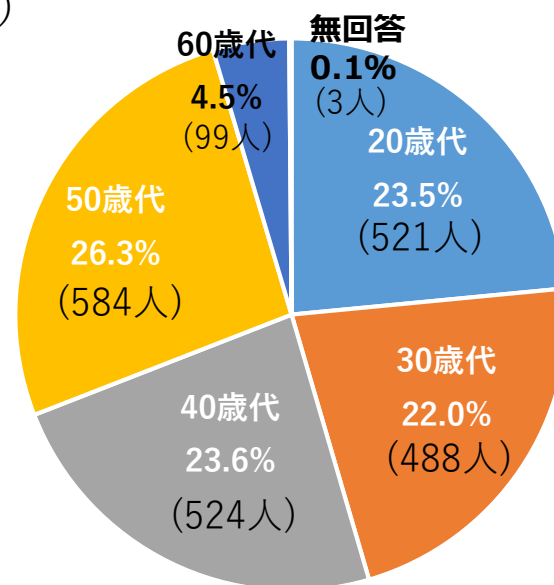
郵送により調査票の配布、しまね電子申請サービスによるWEB回答または郵送による回収

【主な設問項目】

- ・ 現在、(保育士の)仕事に満足しているか
- ・ 現在の職場に対して改善してほしいこと
- ・ 保育士以外の職業に就業した理由

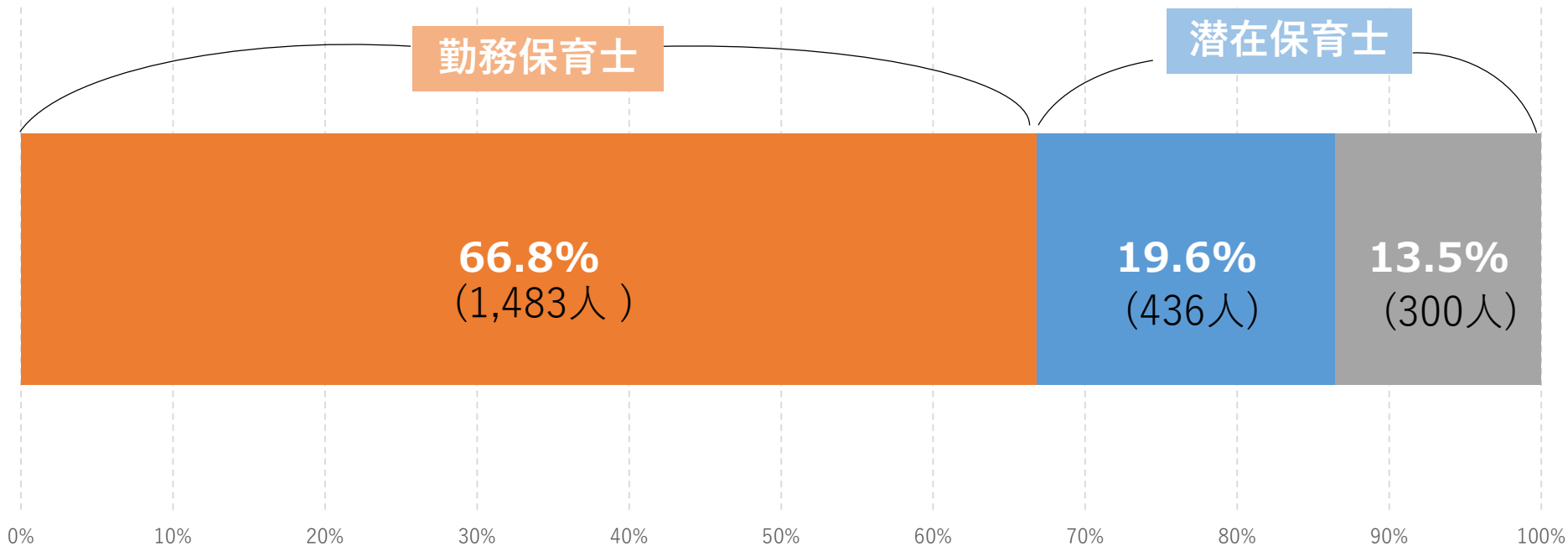
○令和3年度、平成30年度にも同様の調査を実施。

【回答者の年齢層】



保育士としての就業状況

○設問：現在、保育士として就業していますか。



- 【A】 現在、保育士として就業している
- 【B】 現在、保育士として就業していない（保育士としての就業経験あり）
- 【C】 現在、保育士として就業していない（保育士としての就業経験なし）

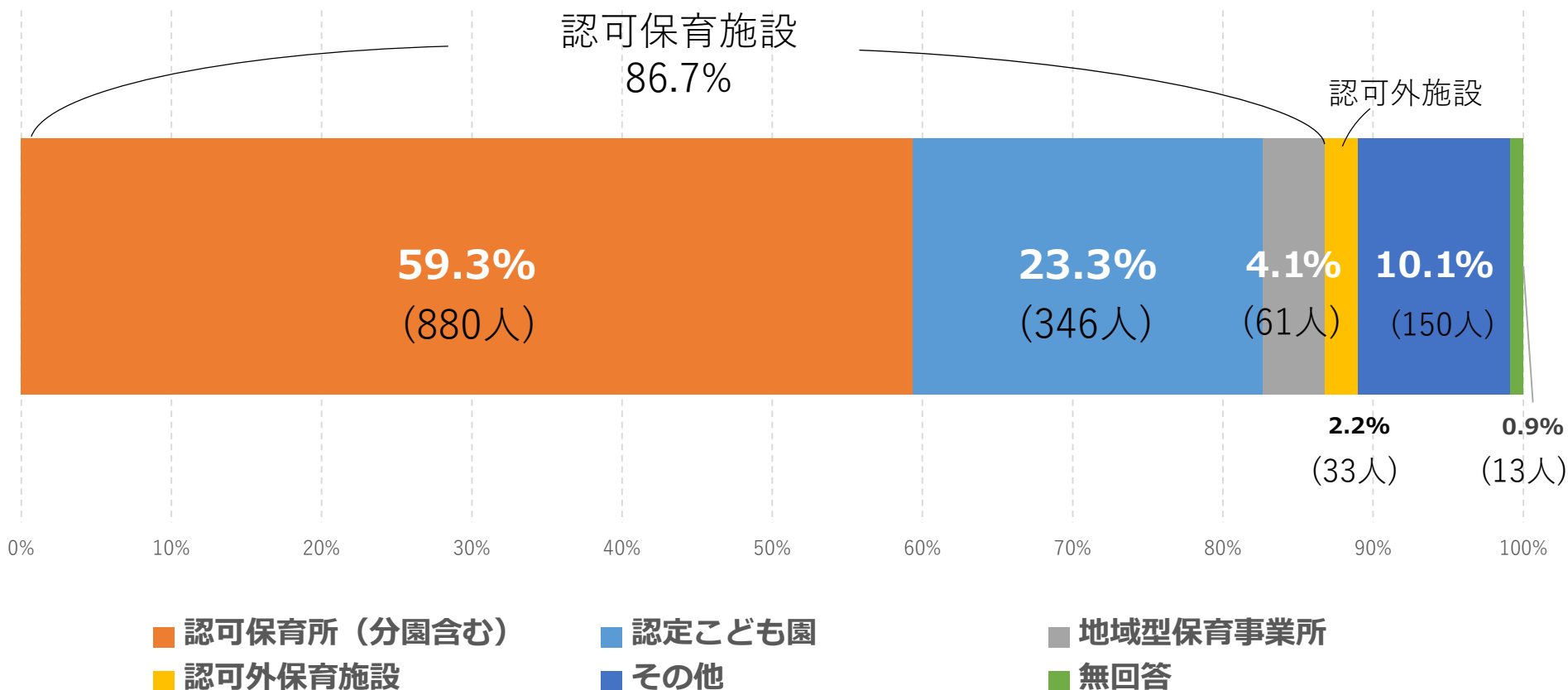
勤務保育士・・・1,483人

潜在保育士・・・ 736人（うち経験あり436人、なし300人）

(n=2,219)

就業先施設・事業所

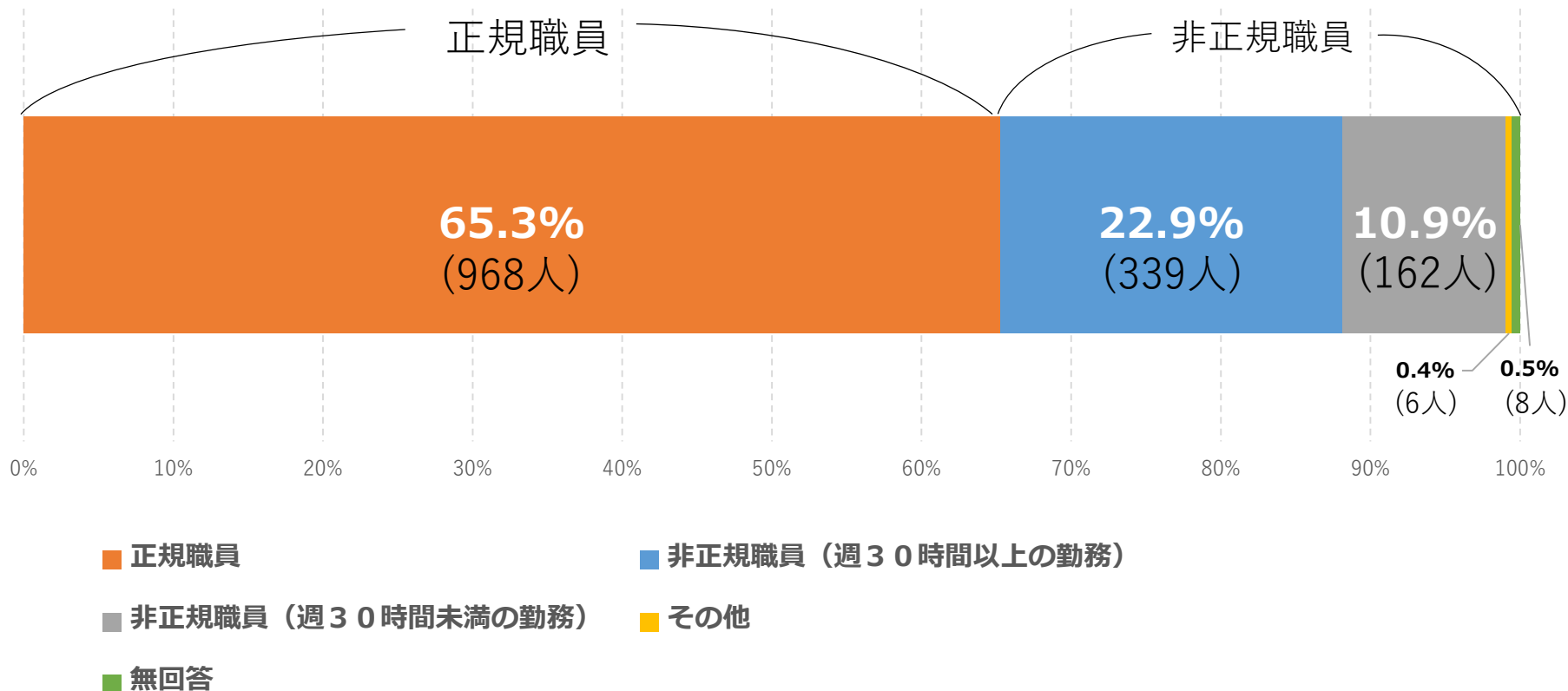
○設問：あなたが現在、保育士として就業している施設・事業所はどれですか。



86.7%の保育士が認可保育施設で勤務している。

(n=1,483)

○設問：あなたの現在の雇用形態はどれですか。



H30調査比 正規職員比率が5.1ポイント増加

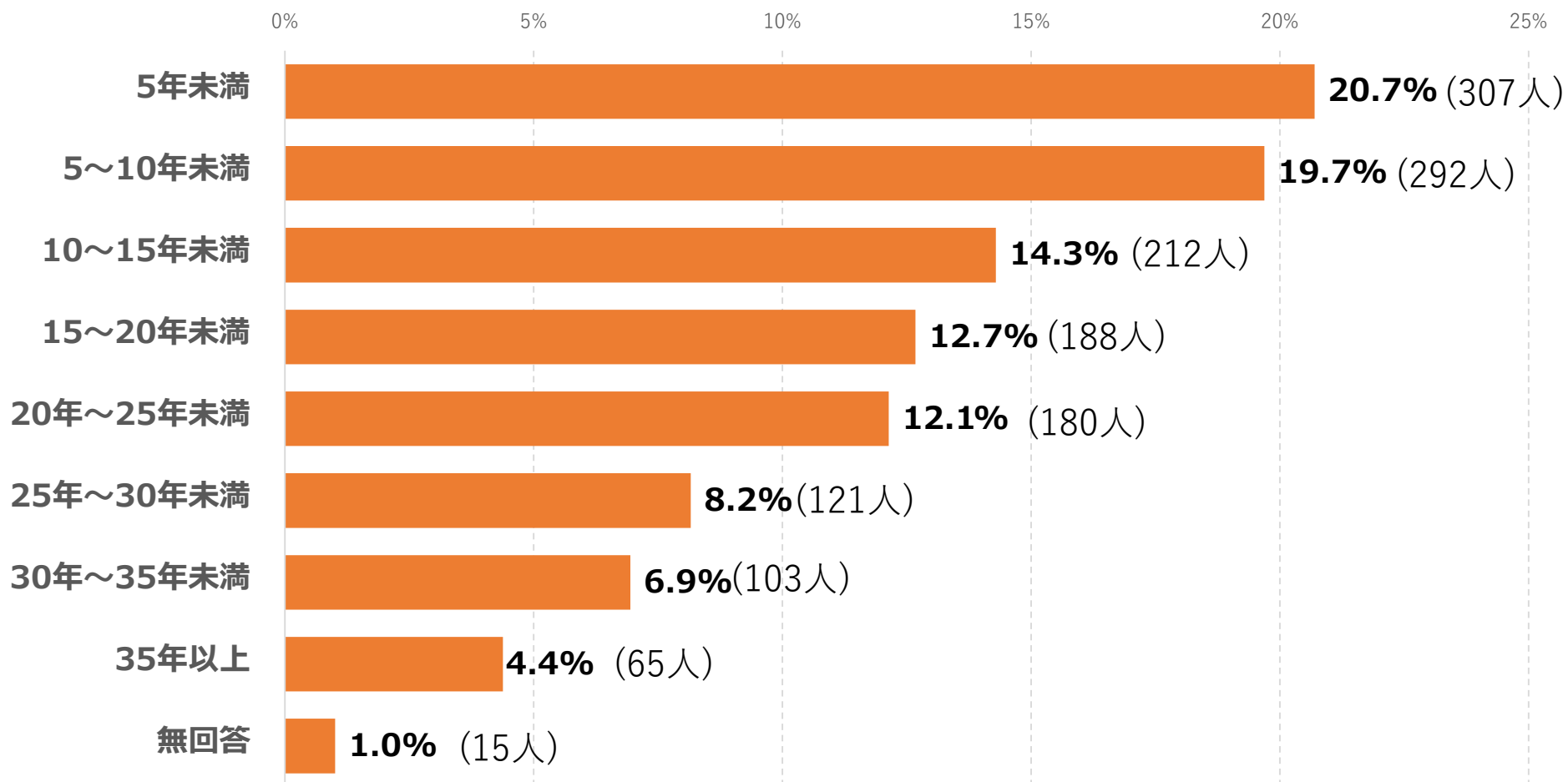
H30調査 正規職員60.2% 有期契約フルタイム25.0% 有期契約週30時間未満13.7%

(n=1,483)

勤務保育士

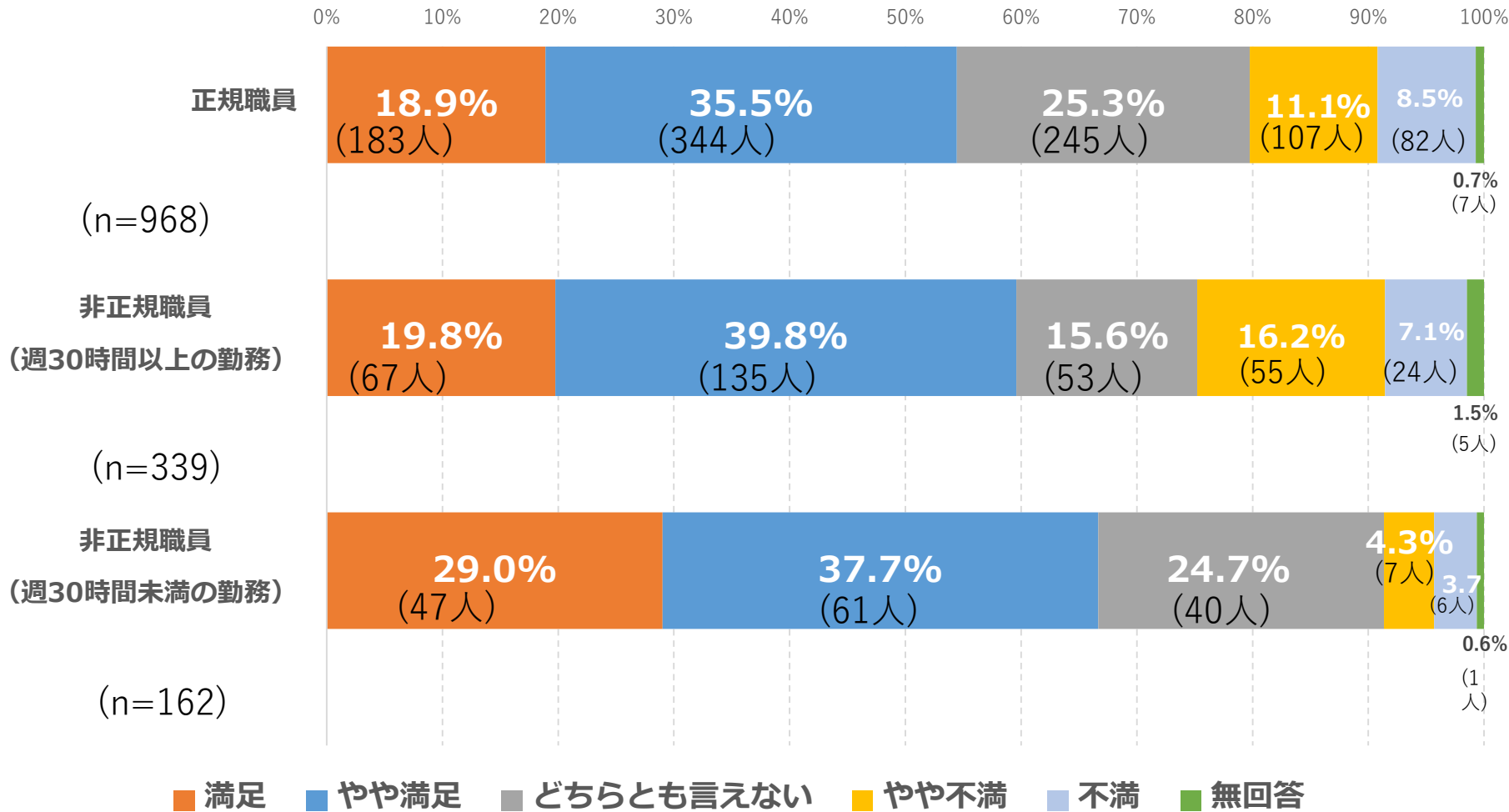
通算勤続年数

○設問：これまで保育士として、通算で何年働いていますか。



回答者のうち約4割（40.4%）が勤務年数10年未満。H30調査の10年未満39.2%（n=1,483）

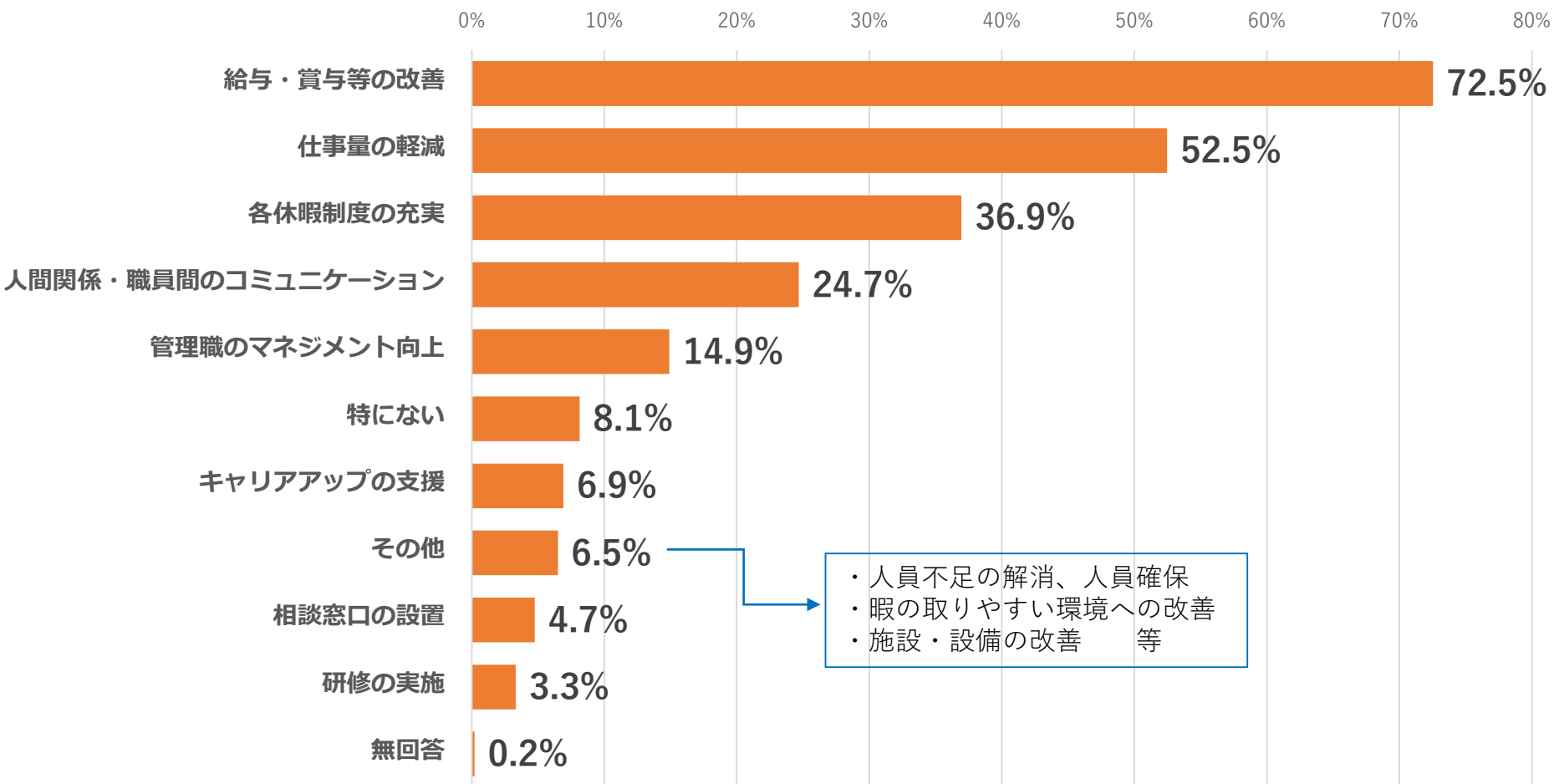
○設問：現在、仕事に満足していますか。



勤務形態により満足度に差がみられる。勤務時間が短い非正規職員の方が満足度が高い傾向
 H30調査と比較し、「満足」と回答した方は全勤務形態で増加
 H30 「満足」 正規17.7% 非正規（30H以上）14.8% 非正規（30H未満）27.0%

職場に改善してほしいこと

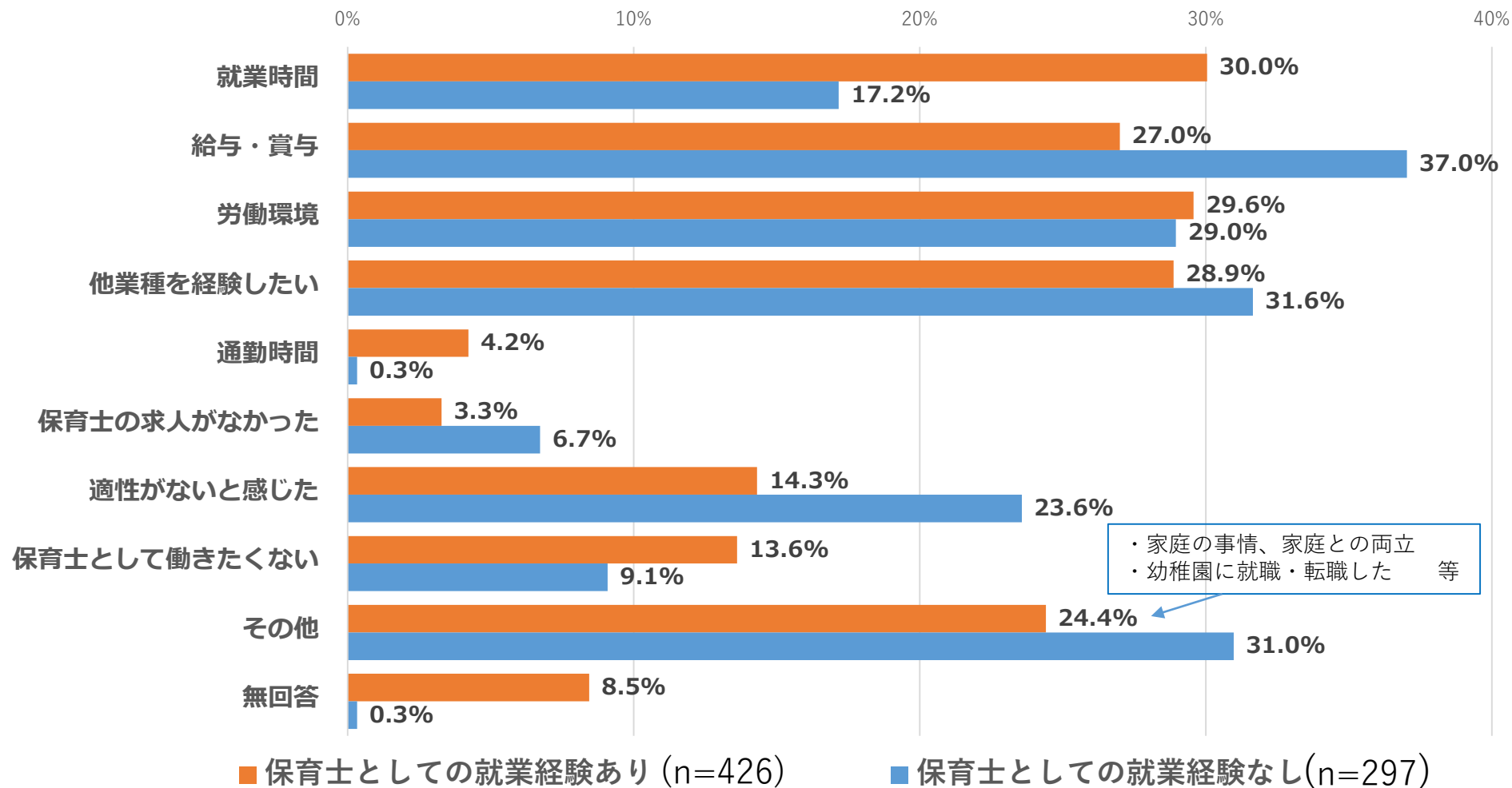
○設問：現在の職場に対して改善してほしいことは何ですか。（上位3つまで選択）



「給与・賞与等の改善」を求める声が多い。

保育士以外の職業に就業した理由

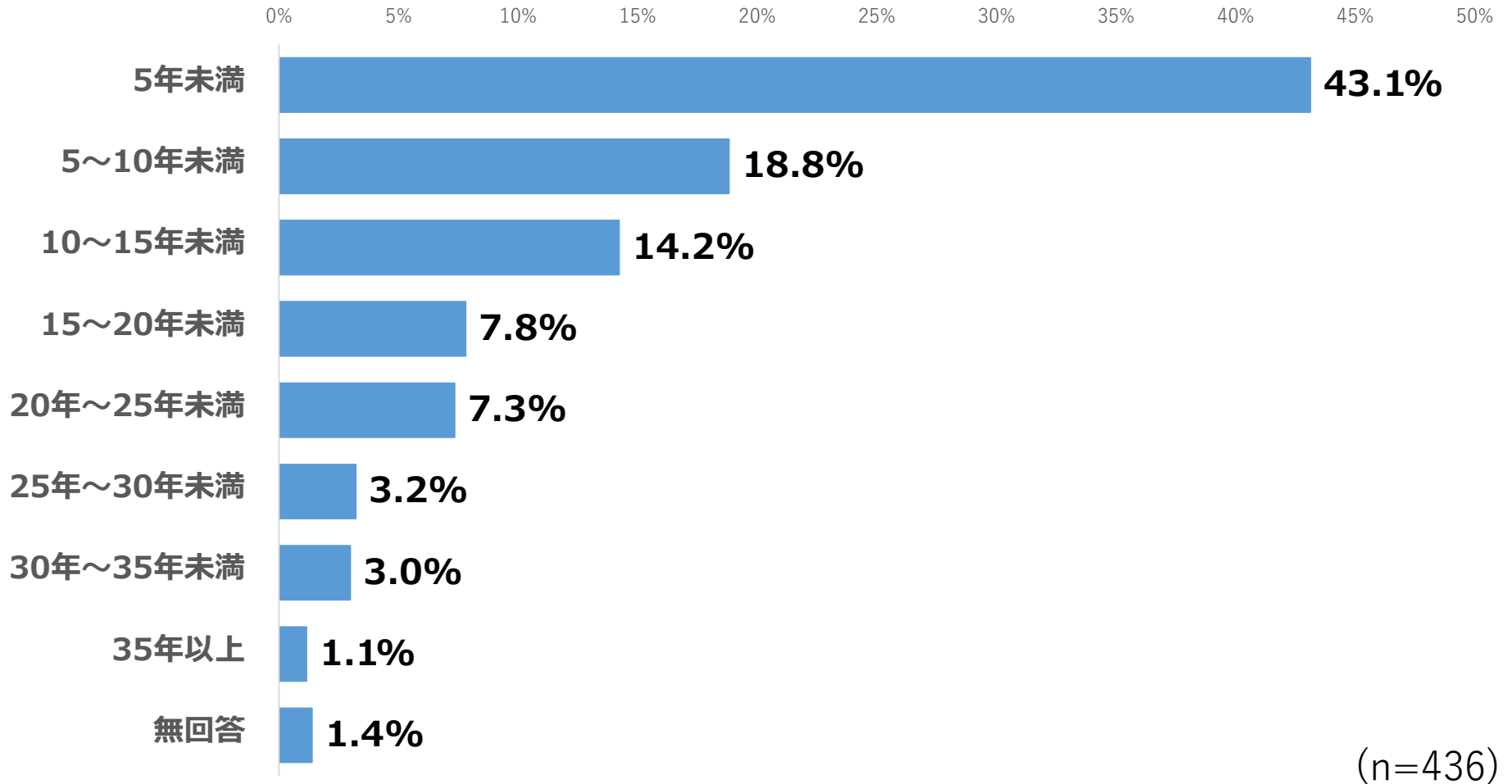
○設問：保育士以外の職業に就業したのはなぜですか。（上位3つまで選択）



・保育士経験ありは「就業時間」「労働環境」「他業種を経験したい」、保育士経験なしは「給与・賞与」「他業種を経験したい」の割合が高い。H30調査と同じ傾向

保育士を辞めてから今までの期間

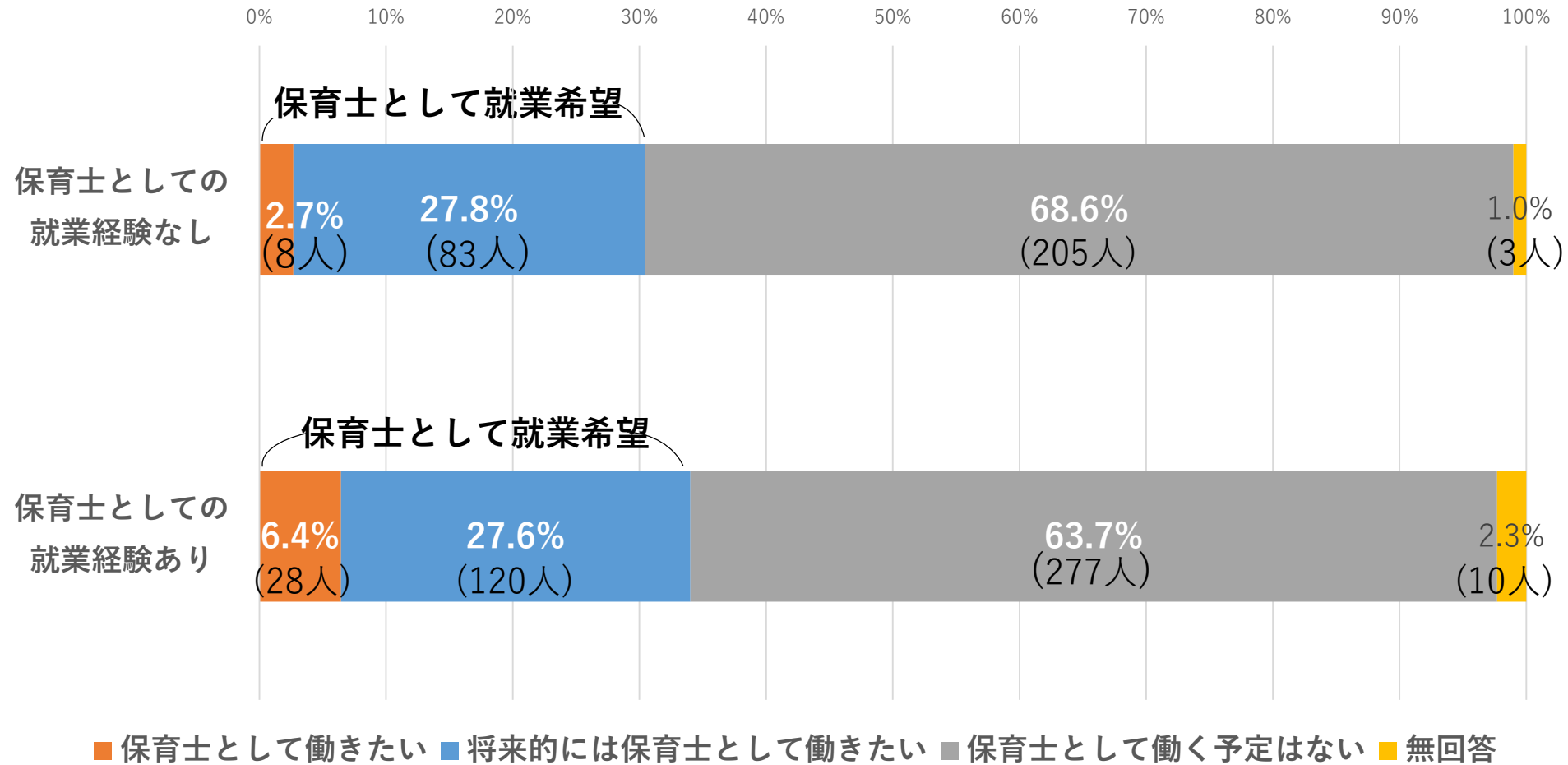
○設問：最後に保育士の仕事を辞めてから今までどのくらいの期間がありますか。



保育士経験ありの潜在保育士について、4割はblankが5年未満

今後の保育士としての就業希望

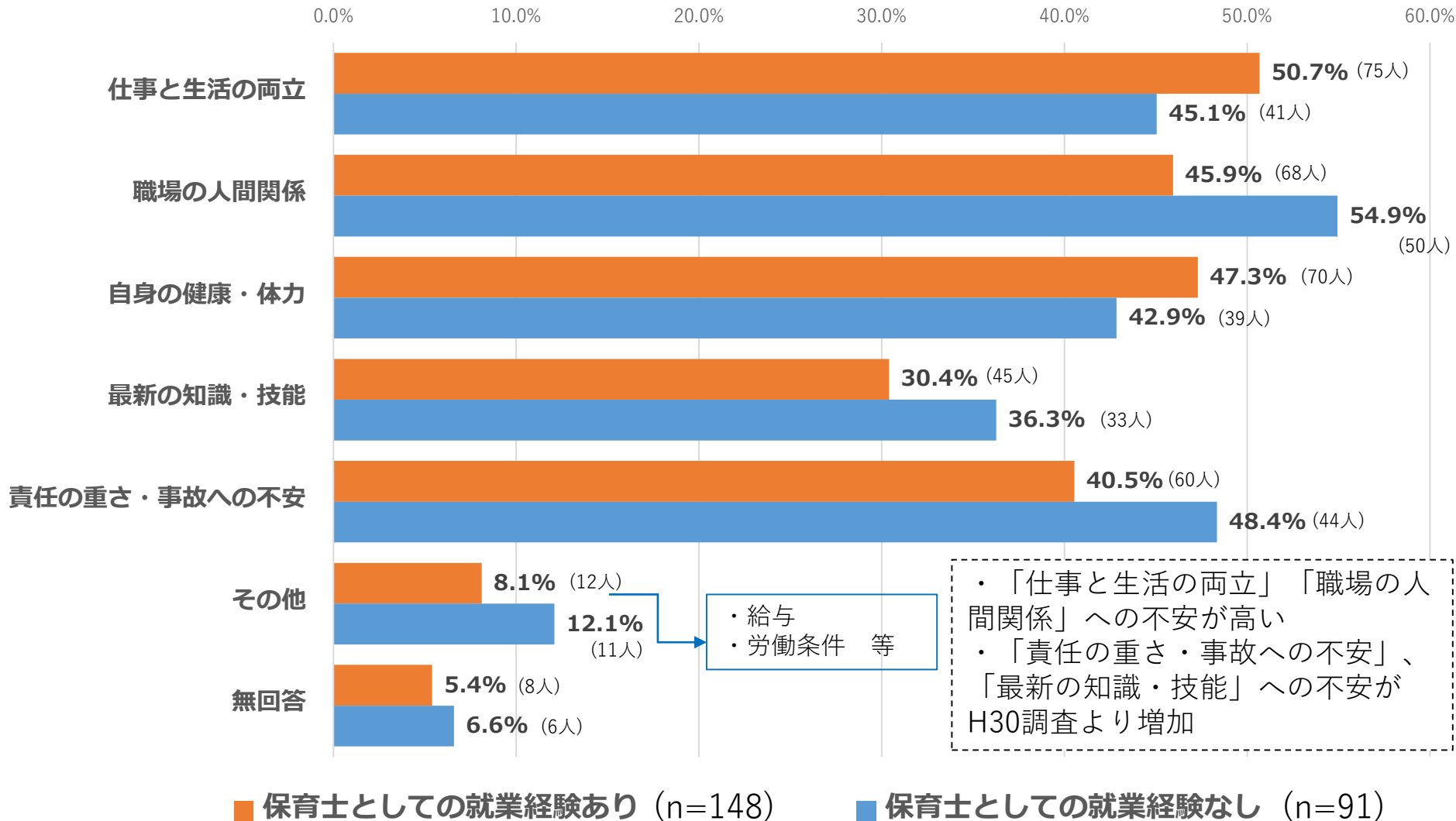
○設問：今後の保育士としての就業希望について教えてください。



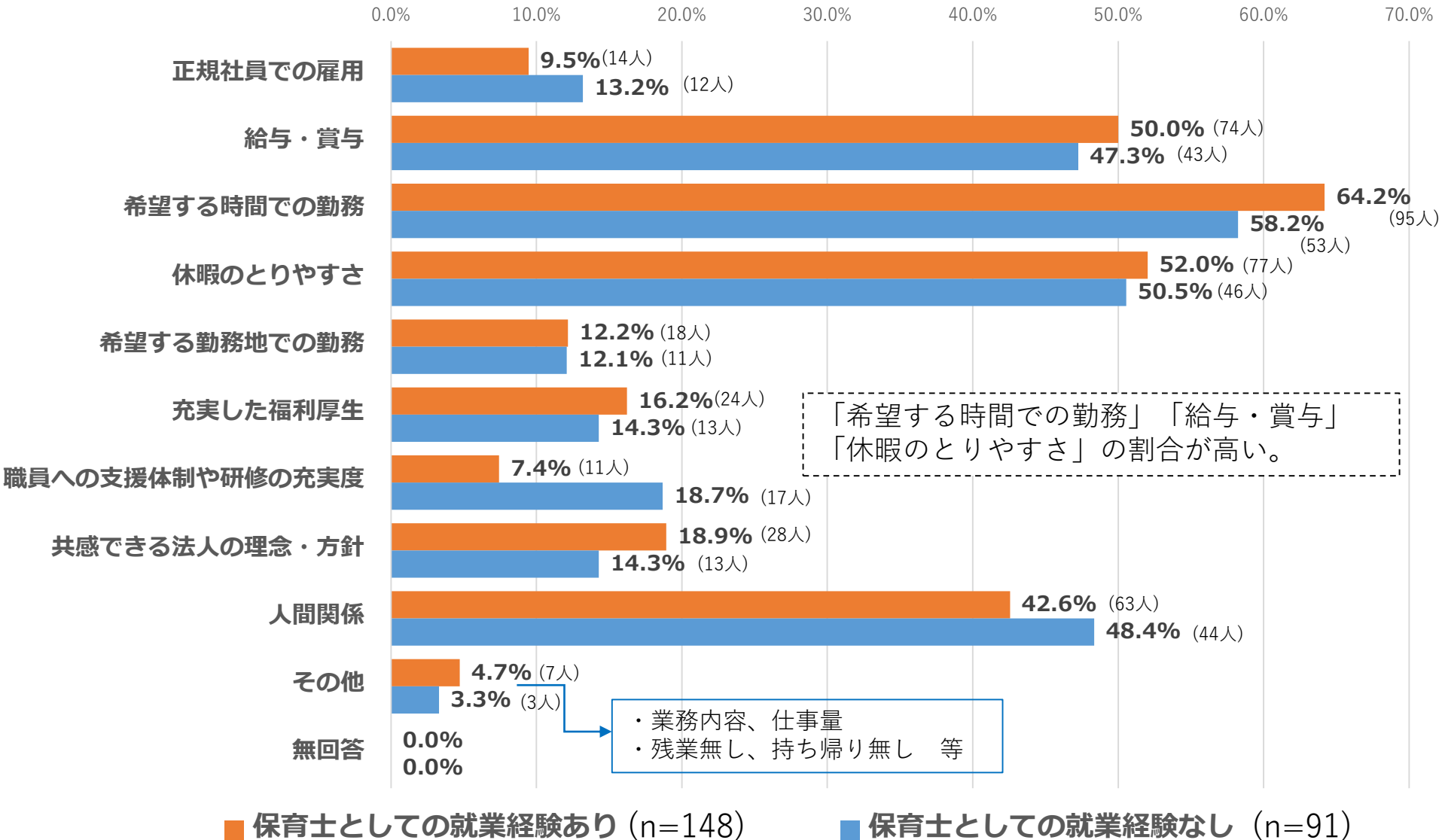
保育士として就業希望者は、潜在保育士全体の約3割。

就職・復職するにあたって不安要素

○設問：保育士として就職・復職するにあたって不安要素はどのようなことですか。（上位3つまでに○）

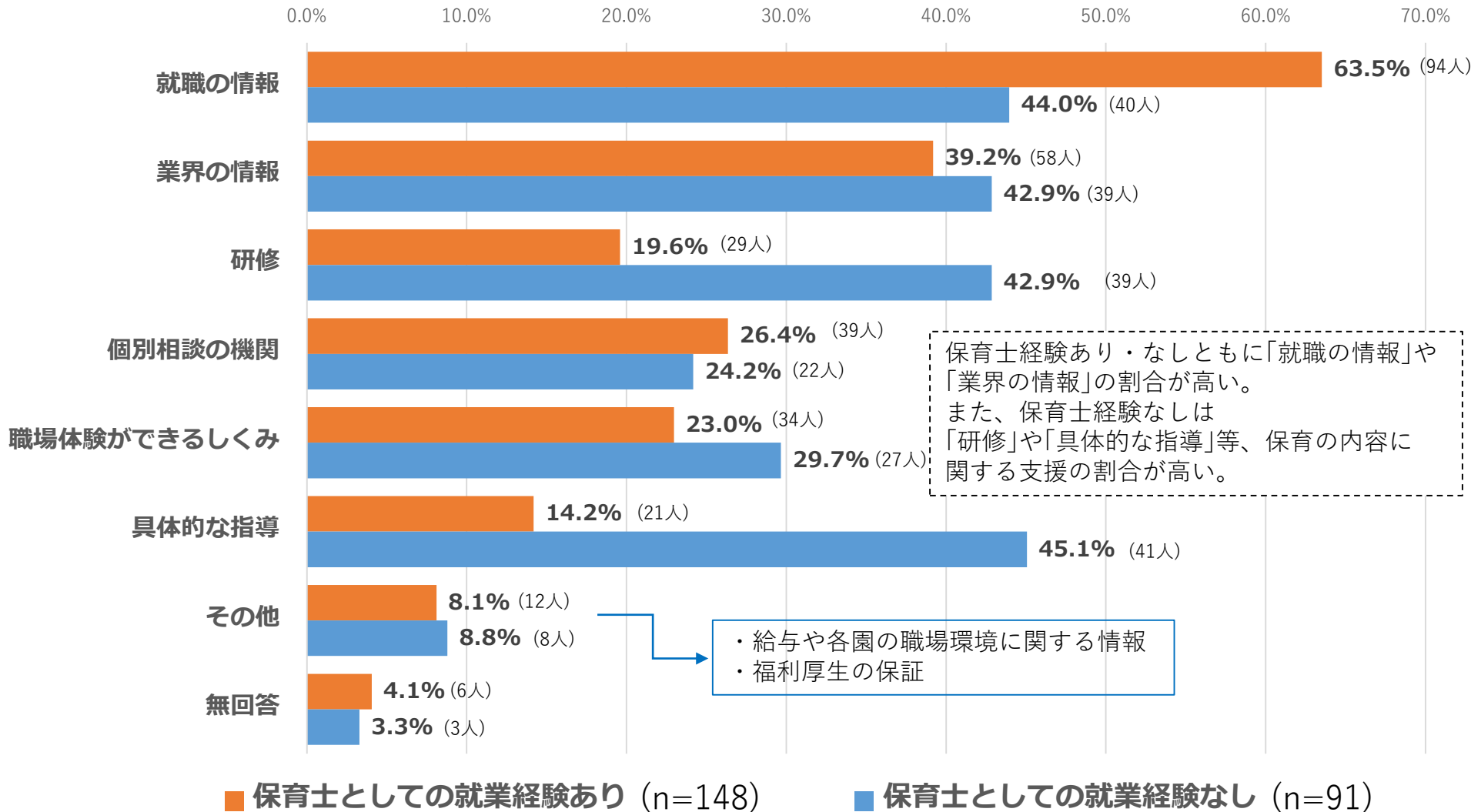


○設問：保育士として復職するにあたって必要な条件（上位3つまで）



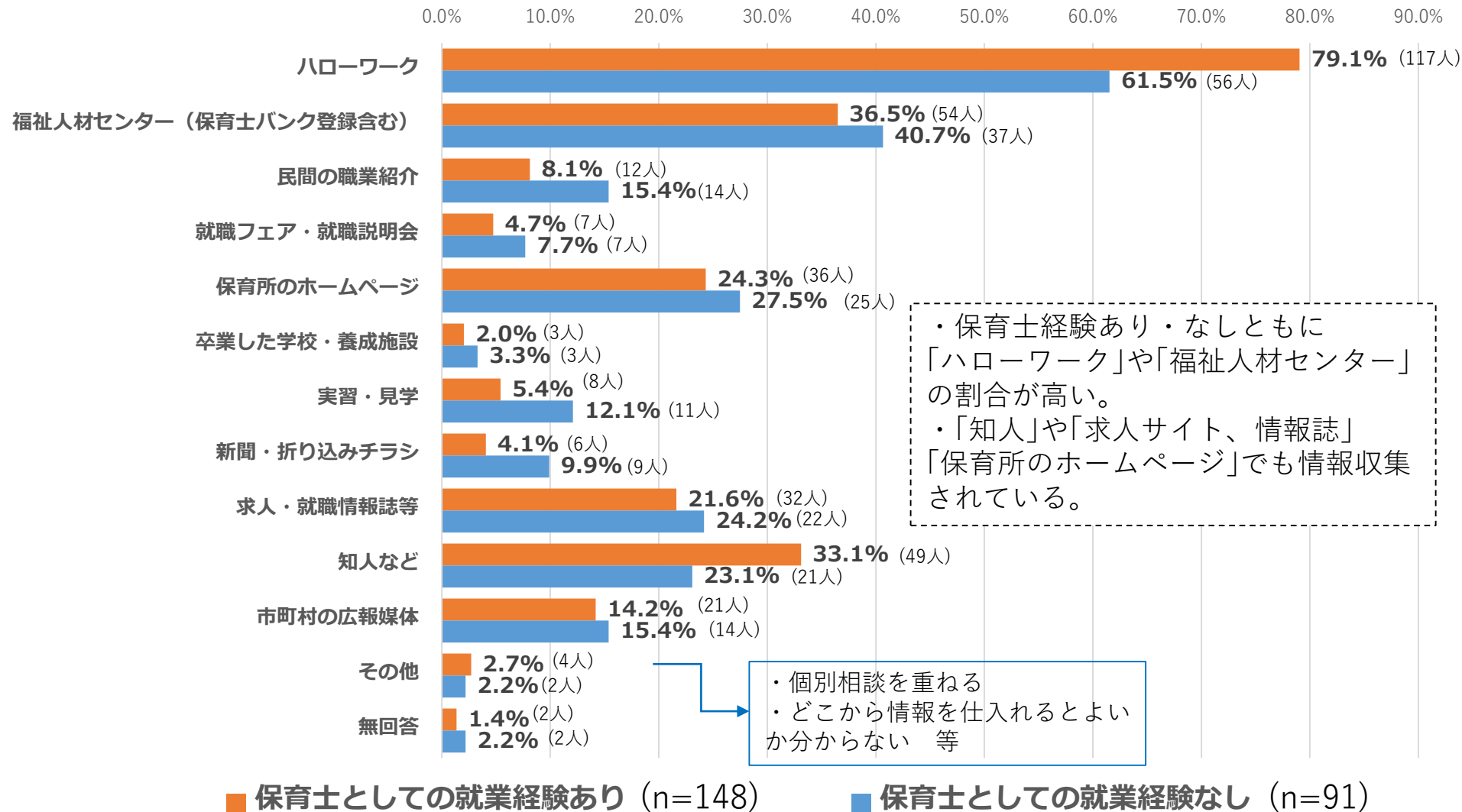
就職・復職に必要なサポート

○設問：保育士として就職・復職するにあたって必要なサポートはどのようなことですか。（上位3つまで選択）



潜在保育士 就職・復職にあたって情報収集する先

○設問：保育士として就業を考える場合、情報収集する先として考えているところはどこですか。（上位3つまで選択）



【事業所調査】 調査概要

島根県内の保育所等を対象に、R5年12月～R6年2月にアンケート調査を実施。

○調査の目的

保育士確保に関する実態や課題・問題点等を把握し、「島根県こども計画」策定のための基礎資料とし、また、県及び市町村での保育士確保のための検討材料とすることを目的として調査を実施。

○調査の概要

【調査対象】

島根県内の保育所、認定こども園、地域型保育事業所、
認可外保育施設

調査票回収数 307施設（回収率 85.0%）

【調査期間】

令和5年12月21日(木)～令和6年2月9日(金)

【調査方法】

市町村を介して調査票データの配布・
県へ直接データ回答

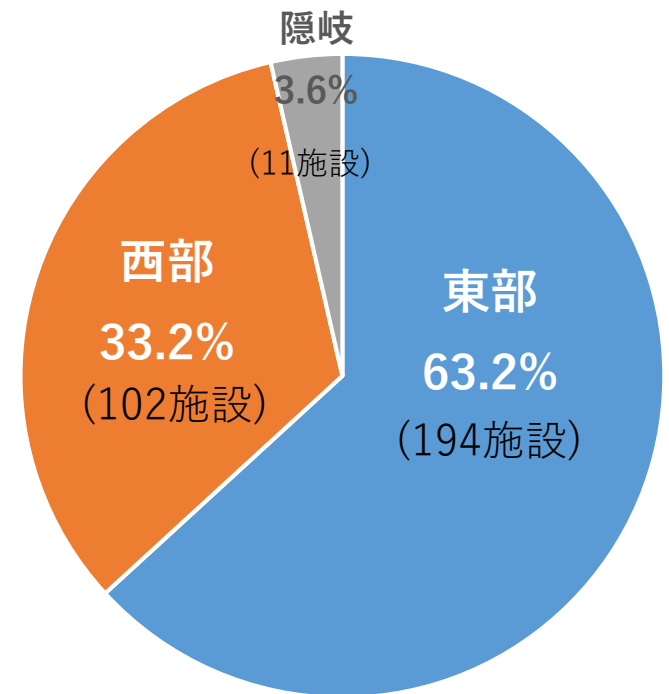
【主な設問項目】

- ・保育士の採用状況・離職者の状況
- ・保育士の確保のしやすさ

○その他

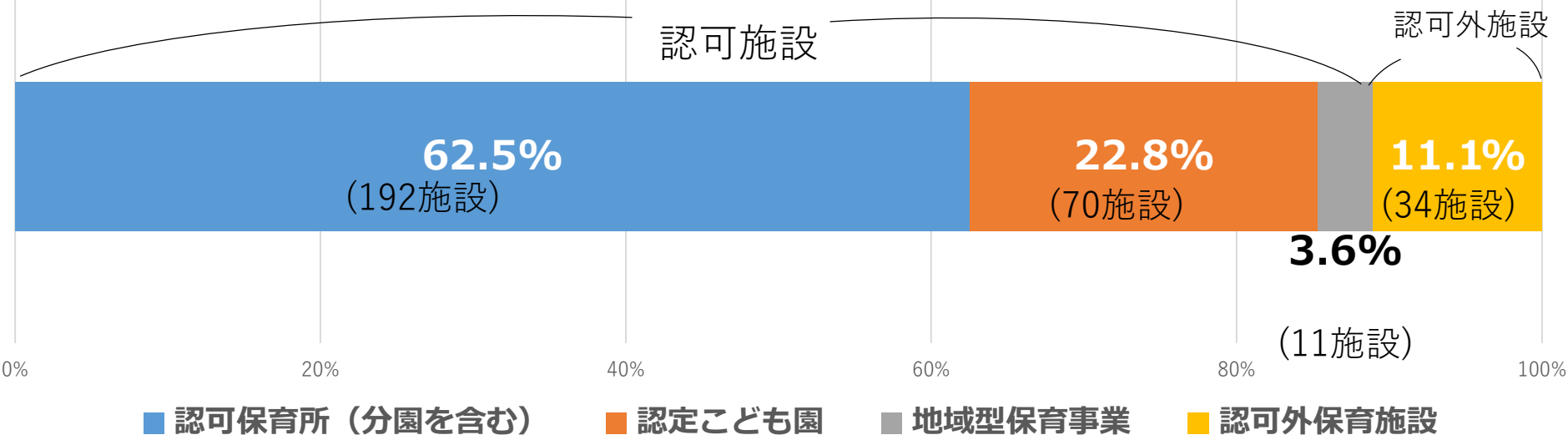
平成30年度にも同様の調査を実施。

【回答した施設の所在地】

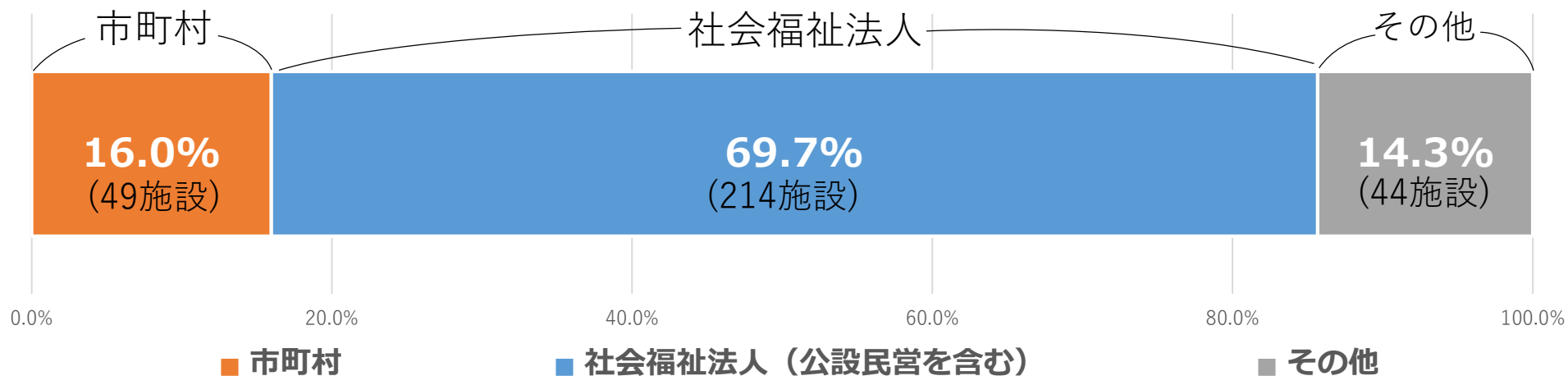


施設種別・運営主体 (n=307)

○設問：貴施設について該当する施設をお答えください。



○設問：貴施設の運営主体について教えてください。



職員（保育士）の実人数 令和5年4月・10月

○設問：貴施設の保育士の実人数をそれぞれ正規・非正規職員別に各年齢ごとに記入してください。また、保育士で産休・育休中の職員の職員数について記入してください。

R5.4.1現在		東部(192施設)	西部(102施設)	隠岐(11施設)	全県(305施設)	
正規職員		1,866	710	74	2,650	
非正規職員	常勤	737	224	22	983	
	非常勤	738	265	16	1,019	
産休・育休中の職員	正規職員	93	22	3	118	
	非正規職員	常勤	26	8	0	34
		非常勤	12	1	1	14
合計		3,472	1,230	116	4,818	

R5.10.1現在		東部(192施設)	西部(102施設)	隠岐(11施設)	全県(305施設)	
正規職員		1,867	713	71	2,651	
非正規職員	常勤	762	228	22	1,012	
	非常勤	758	284	17	1,059	
産休・育休中の職員	正規職員	88	19	4	111	
	非正規職員	常勤	17	10	0	27
		非常勤	14	0	1	15
合計		3,506	1,254	115	4,875	

保育士の求人数と採用状況 令和5年4月

○設問：令和4年度中の保育士の採用に係る貴施設側の希望と実際の採用状況について、その人数を記入してください。

【令和5年4月に配置する職員募集】

		東部	西部	隠岐	全県
正規職員	求人数	166	41	6	213
	採用数	131	28	4	163
	充足率	78.9%	68.3%	66.7%	76.5%
	H30調査	93.1%	75.4%	76.4%	88.9%
非正規職員 (常勤)	求人数	73	17	1	91
	採用数	42	15	0	57
	充足率	57.5%	88.2%	0.0%	62.6%
	H30調査	91.8%	66.7%	37.5%	83.0%

・県内全域で求人充足率が低下

(n=169)

保育士の求人数と採用状況 令和4年度中途

○設問：令和4年度の保育士の採用に係る貴施設側の希望と実際の採用状況について、その人数を記入してください。

【令和4年度中途における職員募集】

		東部	西部	隠岐	全県
正規職員	求人数	57	18	3	78
	採用数	22	7	0	29
	充足率	38.6%	38.9%	0%	37.2%
	H25調査	73.7%	32.0%	0%	50.7%
非正規職員 (常勤)	求人数	42	16	1	59
	採用数	15	13	0	28
	充足率	35.7%	81.3%	0%	47.5%
	H25調査	73.3%	46.9%	41.7%	61.5%

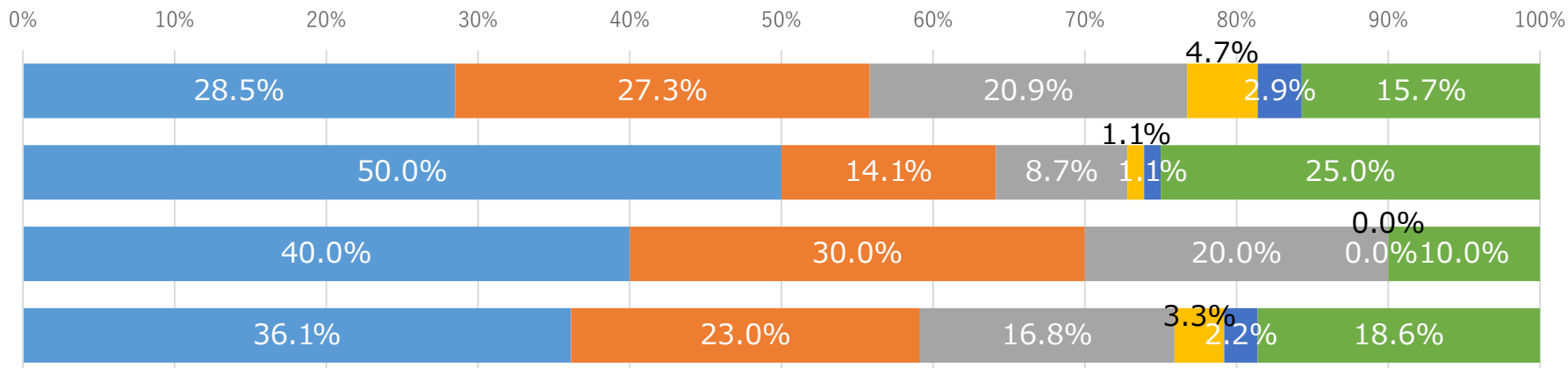
(n=117)

保育士の確保のしやすさ（新卒者）

○設問：保育士の確保について、当てはまるものを選んでください。

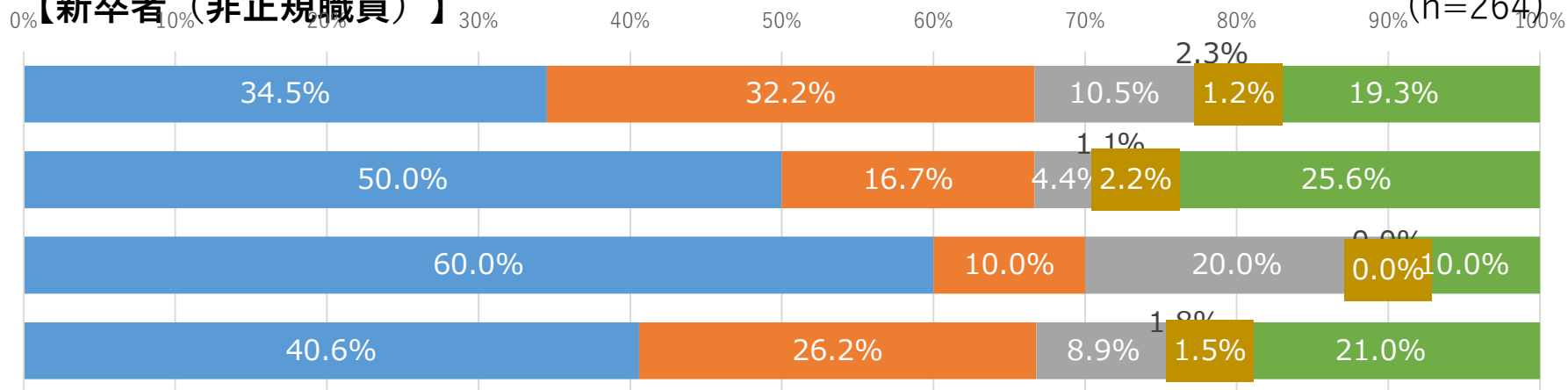
【新卒者（正規職員）】

(n=274)



【新卒者（非正規職員）】

(n=264)



■ 非常に確保しにくい ■ 確保しにくい ■ なんとか確保できる ■ 比較的容易に確保できる ■ 容易に確保できる ■ わからない

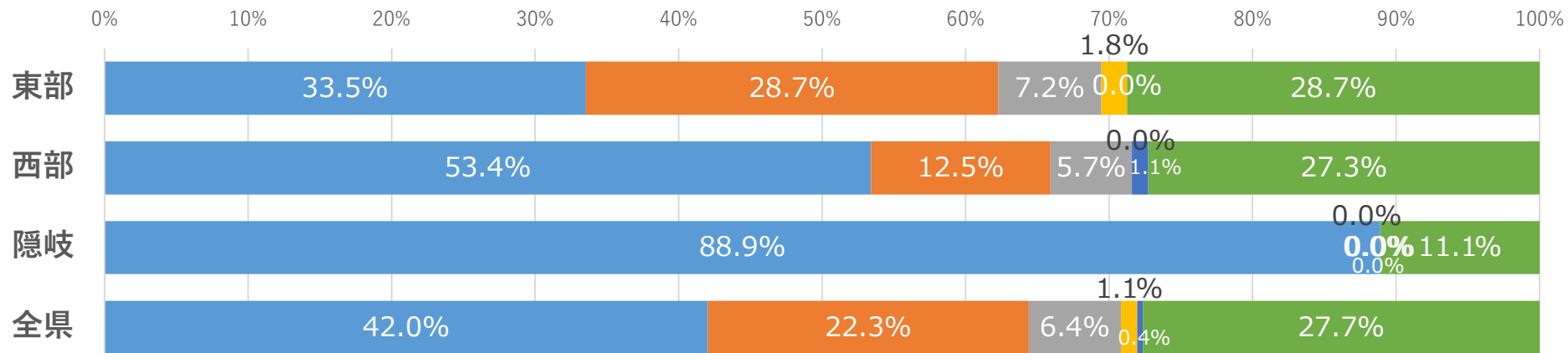
・全県で「非常に確保しにくい・確保しにくい」という回答が5割を超え、特に、隠岐・県西部で「非常に確保しにくい」という回答割合が高い

保育士の確保のしやすさ（新卒者以外）

○設問：保育士の確保について、当てはまるものを選んでください。

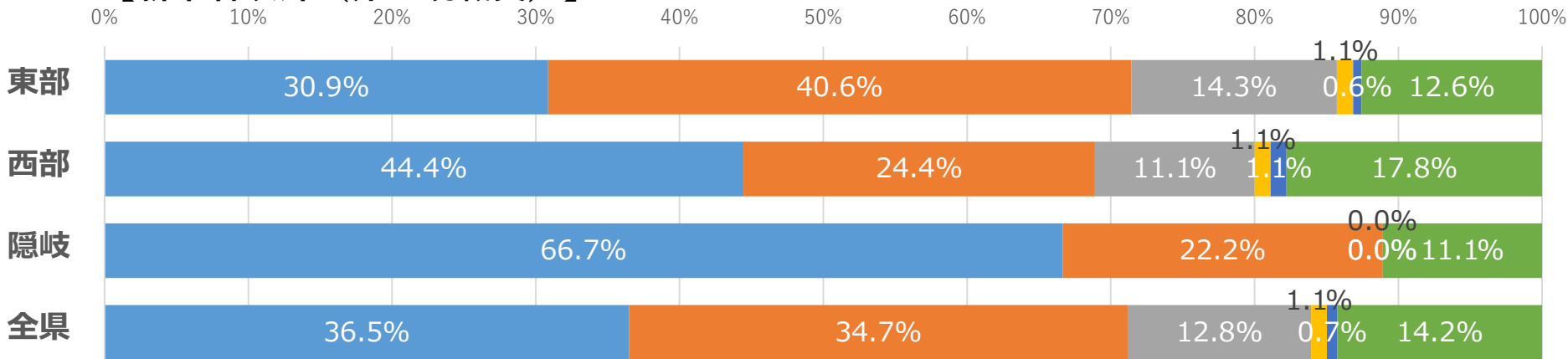
【新卒者以外（正規職員）】

(n=271)



【新卒者以外（非正規職員）】

(n=274)



■ 非常に確保しにくい ■ 確保しにくい ■ なんとか確保できる ■ 比較的容易に確保できる ■ 容易に確保できる ■ わからない

・全県で「非常に確保しにくい・確保しにくい」という回答が6割を超え、特に、隠岐・県西部で「非常に確保しにくい」という回答割合が高い

離職者の状況（令和5年10月1日現在）

○設問：20代保育士の採用人数、そのうち離職した方の離職時期等を記入してください。

【正規職員】

(n=189)

年度	採用人数 (A)	(A)のうち、離職した方		(A)のうち、 在職の方 (D)
		採用から3年未満に 離職 (B)	採用から3年以上5年未 満に離職 (C)	
R元	158	35	26	92
R2	138	34	13	90
R3	173	47	1	125
R4	171	24	0	147
R5	152	10	0	142

【非正規職員】

(n=130)

年度	採用人数 (A)	(A)のうち、離職した方		(A)のうち、 在職の方 (D)
		採用から3年未満に 離職 (B)	採用から3年以上5年未 満に離職 (C)	
R元	91	30	7	52
R2	72	17	6	49
R3	78	24	2	52
R4	96	20	0	75
R5	79	9	0	67

・過去5年間に採用された20代の保育士の離職率は、正規職員が23.9%、非正規職員は29.1%

令和4年度中の離職者の状況

○設問：令和4年度中（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の離職者の状況を記入してください。

【正規職員】

年齢\勤続年数	3年未満	5年未満	5年以上	計
20代	71	27	35	133
30代	20	14	48	82
40代	10	4	25	39
50代	6	8	23	37
60代以上	8	5	35	48

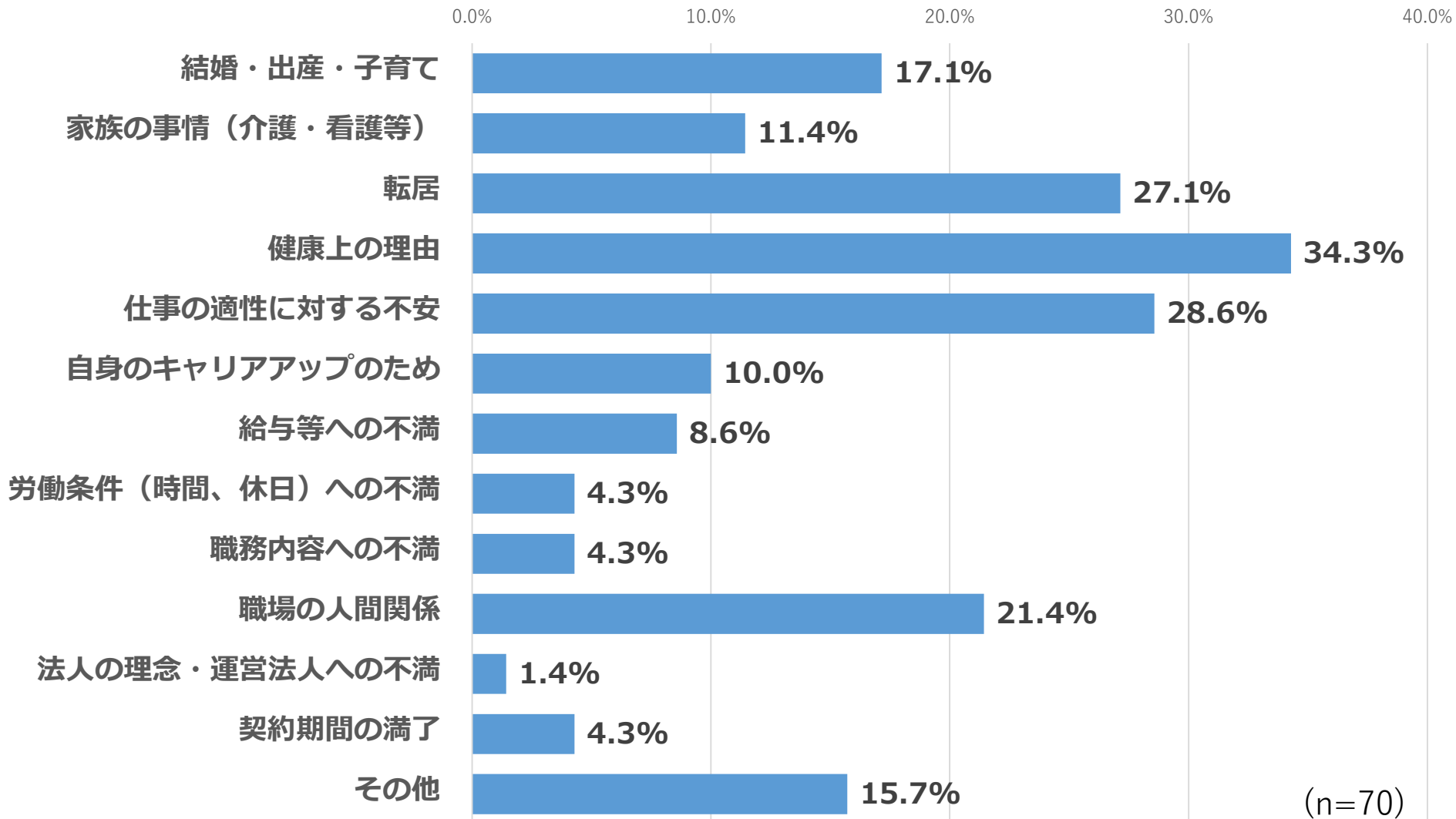
離職者は20代、次に30代が多い。

また、20代の離職者のうち約半数が3年未満、7割程度が5年未満で退職している

(n=161)

令和4年度中の離職者の状況

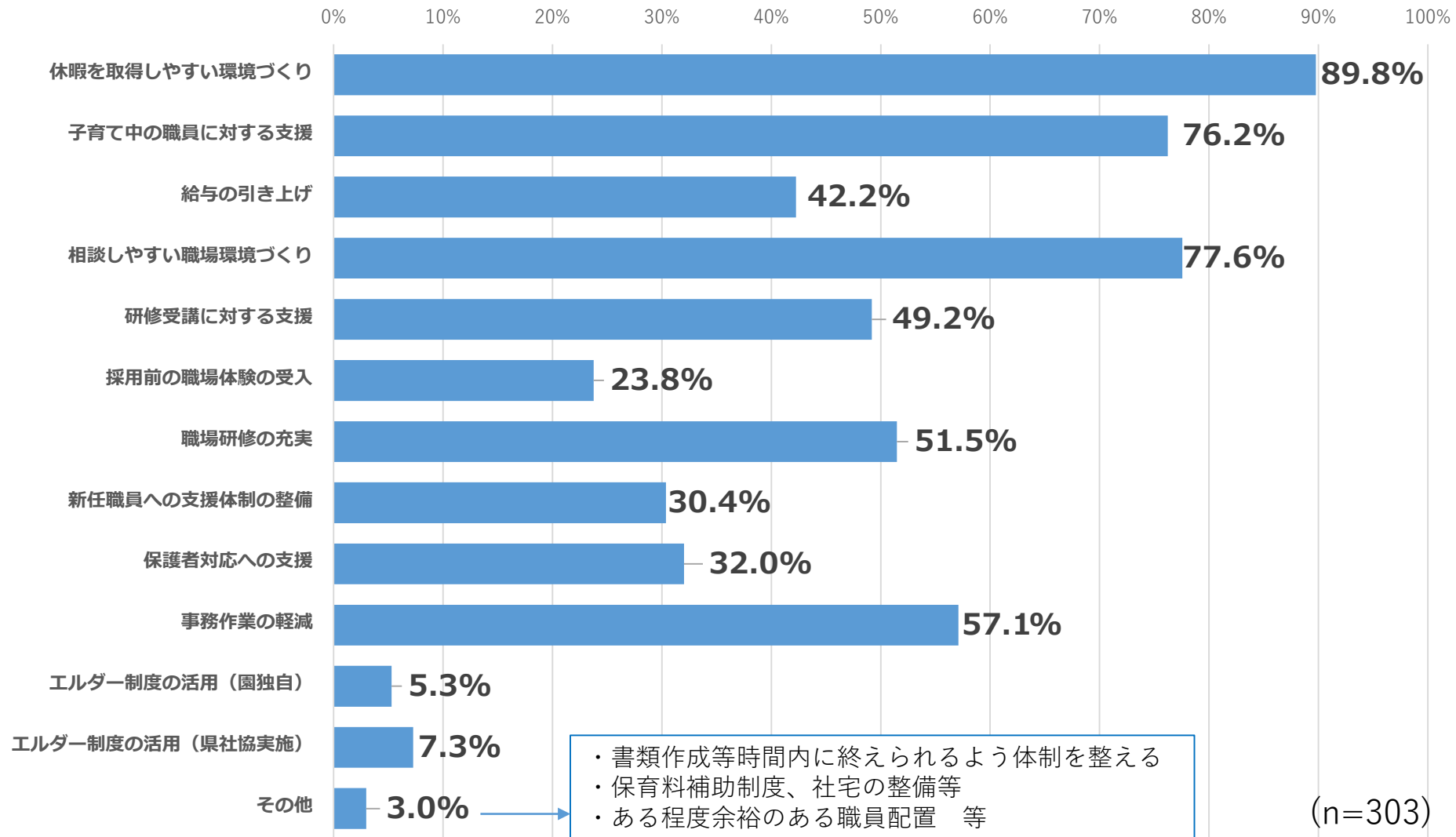
○設問：20代の離職者のうち、「3年未満」で離職した保育士の主な理由
(上位3つまで)



(n=70)

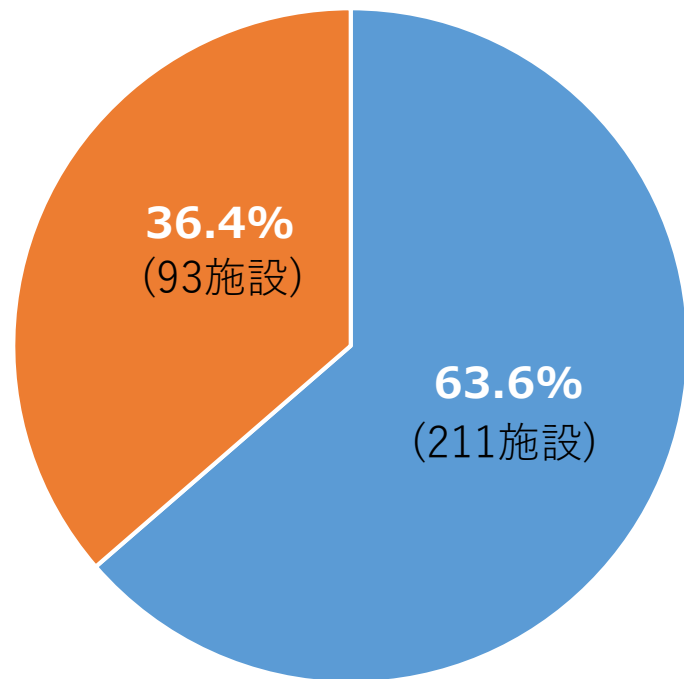
保育士の確保・離職防止に向け行っている取組

○設問：保育士の確保・離職防止に向け、貴施設で行っている取組について、あてはまるものがあれば該当項目を選択してください。（複数回答可）



I C T機能の導入状況

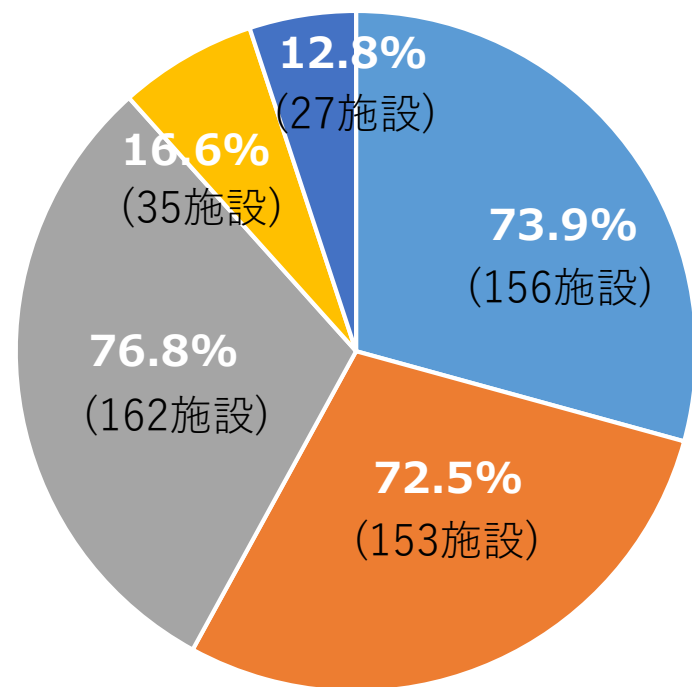
○設問：導入の有無 (n=304)



■ 導入あり

■ 導入なし

○設問：導入したICT機能 (n=211)



■ 保育に関する計画・記録に関する機能

■ 園児の登園及び降園の管理に関する機能

■ 保護者との連絡に関する機能

■ 実費徴収等のキャッシュレス決済

■ その他